

定例教育委員会会議録

(令和2年8月7日開催)

岡谷市教育委員会

定 例 教 育 委 員 会

日 時 令和2年8月7日(金)

9時30分～

場 所 市役所6階 603会議室

署名委員 草間職務代理人、太田委員

【 次 第 】

○ 開 会

○ 教育長報告

○ 議 題

1. 新型コロナウイルスの対応について【別添 新型コロナ関連資料】 (各課)

2. 令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書採択について

【別添資料】 (教育総務課)

○ 報 告

1. ファーストチョイス(セカンド)ブック事業について【別添資料】 (生涯学習課)

2. 岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について【別添資料】 (各課)

○ そ の 他

・行事等について(各課)

・その他

【次回開催予定】 9月8日(火) 定例教育委員会 9時30分～ 6階 603会議室

出席委員

教育長 岩本 博行、職務代理者 草間 吉幸、教育委員 太田 博久、教育委員 高木 千奈美、
教育委員 藤森 一俊、教育委員 小平 陽子

事務局（説明員）

教育部長 城田 守、教育総務課長 両角 秀孝、教育総務課主任指導主事 竹内 良之、
生涯学習課長 山田 勝由紀、スポーツ振興課長 小河原 義友、市立岡谷図書館館長 中原 淳一、
生涯学習課統括主幹 伊藤 史佳、教育総務課統括主幹 小口 明彦、教育総務課学校教育主幹 横内 哲郎、
教育総務課主査 芳沢 幸祐

<会議録>

○開 会

岩本教育長： 皆さんおはようございます。ご多用の中、お集まりいただきありがとうございます。いよいよ岡谷東部中学校は今日から、そのほかの学校は明日から夏休みに入ります。この一学期はコロナの関係で大変揺れ動いた一学期だったと思います。無事、終業式を迎えられそうです。

それでは8月の定例教育委員会を開催いたします。本日の署名委員は草間職務代理者さんと太田委員さんをお願いをしたいと思います。それでは教育長報告をさせていただきます。

○教育長報告

何点か報告させていただきます。

1. 市教委の学校訪問について

教育委員の皆様にもご参加いただいた市教委の学校訪問であります。7月27日の岡谷南部中学校を最後に、予定した内容が終了しました。新任の校長先生あるいは教頭先生を迎えた学校を訪問対象とさせていただいたので、今年度は10校と校数が多かったわけですが、その分、広く学校の状況を参観することができました。

学校再開後の子どもたちの様子が心配だったわけですが、どのクラスを訪問しても子どもたちが、いい表情で学びに向かっている姿を見ることができました。学校の休校が長引く中で、学校に行って学びたい、という気持ちが膨らみ、それが弾けているような生き生きとした様子に見えました。教育委員さん方も色々な感想を持ったことと思います。

また、休校期間中、どの学校でも先生方が授業改善のための研修や教材研究を進めておりました。多くの教室で、昨年度、導入した電子黒板機能付きプロジェクタやタブレット等のICT機器を活用した授業場面をたくさん見ることができました。

コロナ禍の新しい生活様式はこれからも続いていくわけですが、各校とも3密を避ける工夫をしながら、それでも子どもたちの学習が、主体的で対話的なものになるように知恵を絞っております。今後も、市教委は最高の応援団として学校を支えてまいります。

教育委員のみなさん、市教委訪問へのご参加、ありがとうございました。

2. 岡谷市リーダーズ倶楽部の活動再開について

生涯学習課からは青少年担当で事務局をしております岡谷市リーダーズ倶楽部の活動再開についてであります。

新型コロナウイルス感染症の影響で、全ての活動を延期していましたが8月23日（日）に、岡谷田中小学校の体育館で任命式を実施したあと、翌週の30日（日）に、鳥居平やまびこ公園を会場に日帰りイベントを行う予定であります。開催にあたっては岡谷市子ども会育成連絡協議会が市の対策本部の方針に基づき、活動指針や留意事項を独自に策定し、屋外であっても対面で大きな声を出さない、など新しい生活様式を遵守して、実施する予定となっております。

リーダーズ倶楽部以外の一般参加者につきましては、直近2年間にわんぱくアドベンチャーや通学合宿に参加した市内の小学6年生20名に限定して参加を募ることにしております。今のところ、60名ほどの参加を見こしており、簡単なレクリエーションなど、お昼を挟んで約4時間の行事を予定しております。

今後の感染状況により変更となる可能性もありますが、万全の感染防止対策を講じて、実施してまいりたいと考えております。

3. VC長野トライデンツによるバレーボール教室について

岡谷市ではバレーボール人口の拡大やスポーツへの関心、人づくりとまちづくり、地域の活性化を図るため、平成13年度より、岡谷市バレーボールのまちづくり実行委員会を組織して、各種部門別の大会や教室を開催しております。

今回、V1(ブイワン)リーグに参戦しているVC長野トライデンツから、本実行委員会が実施しているジュニア育成事業である子どもたちを対象とした教室に講師として参加し、地域貢献したい旨のお話をいただきました。実行委員会、岡谷市バレーボール協会と調整する中で、8月29日(土)に市民総合体育館で小中学生バレーボール教室を開催することにいたしました。

当日は、午前中が小学生、午後は中学生を対象に指導をしていただきます。トップアスリートから直接指導を受けることは、子どもたちにとって貴重で大変有意義な機会となると思っております。

岡谷市教育委員会では、この3月に第2次岡谷市スポーツ推進計画「はつらつ岡谷スポーツプラン」を策定いたしました。このプランは、スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで、すべての人々が様々な形でスポーツに関わっていくことを主眼とした計画としております。プロスポーツチームによる地域の子も達への指導により、「ささえるスポーツ」としての取り組みとして大いに期待しているところであります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響によっては教室が中止となる可能性もありますが、開催にあたりましては、感染症拡大防止のための対策を講じ、受講者、スタッフ、関係者全員が感染防止に取り組むなかで実施してまいりますと思っております。子ども達にとって素晴らしい機会が提供できますことを願っております。

私からは以上であります。

○議 題

1. 新型コロナウイルスの対応について (教育総務課)

岩本教育長： 議題1について、事務局より説明をお願いします。

<事務局から新型コロナウイルスの対応について説明。>

岩本教育長： 今の説明について、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

草間職務代理者： 新型コロナウイルス感染症に関わる市の支援として、「小中学校感染症対策及び学習保障支援事業」についてですけれども、感染症対策についてはある程度は分かるのですが、学習保障支援は具体的にはどのような内容になるのでしょうか。

事務局： こちらにつきましては、国の大きな政策フレームの第二次補正予算の中で示されたものです。国の補助金を利用しまして大きく二つの軸があります。学校再開後の感染予防対策と学びの保障に必要なものに活用するために、国も財政支援するので規模に合わせて補助をするのが一つ。それから学校長の裁量、判断でこれから必要になるものを購入するものです。感染予防対策ということで消毒関係の消耗品のほか、蛇口の自動水栓化、保健室に設置する空気清浄機などの備品を購入するものです。学習の保障につきましては、具体的に必要な物は市教委の方では特に指定はしておらず、学校の判断で必要なものを購入していただく補助金だと思っております。

草間職務代理者： 校長先生の裁量が大きいということですね。それぞれの学校に応じた使い勝手が良い支援だと思います。

高木委員： 学習の保障ということの中で、大人の学習の保障という点で、こういう状況の中ではリモート学習が主になると思うのですが、テクノプラザは産業関係でしか使えない、カルチャーセンターのIT研修室は13名、あいとぴあは30名しか使えない、実際に使ってみたら一時間で接続が切れたり、多人数が同時に接続できないなど、自由にWi-Fiが使用できる環境がない問題があります。

これから先の時代を考えると、コロナが収束した後もWi-Fi環境が整っていれば、いつでも各地の人とオンラインで繋がり、学びが深まるのではないかと思います。予算が大きく難しいことだと思いますが、Wi-Fi環境を整備することが求められているのではないのかなと感じます。

事務局： カルチャーセンターの憩いの広場には、先日、Wi-Fiを整備いたしました。閉鎖された空間までは電波が届かないということがあります。9月に公民館大会が行われますが、感染のおそれから公民館に集まらない状況の中で、それぞれの公民館も、集まらずにリモートなどで公民館活動ができないか模索しているところです。公民館大会については中止ではなく、リモートで大会をやってみようということで県の事務局で考えていまして、カノラホールを主会場に9月に開催する予

定で取り組んでいるところです。そんな中で、リモートで会議が行えたり、講座などで活用できるのであれば、今後、Wi-Fi整備は予算的な問題もありますが必要になってくるのではないかと思います。

太田委員： 子どもたちに今年度中にタブレット端末が行き渡るのは良いことだと思いますし、こういう状況下で対面授業の代替策として、リモート環境を整えるのは重要だと思います。GIGAスクールに関しては、コロナウイルス感染症対策の対面授業の代替策とは別に、もっと大きな方向性で進めていることと思いますが、一人一台のタブレット端末を使っただけの、今現在の具体的な活用方法のイメージというようなものはありますか。

事務局： 文部科学省においても、一人一台端末を使っただけの活用というのは、国際的なニーズによって日本の子どもたちに、これからICTをもっと進めなければならないというのが根底にあります。今までもソロバンなど学校で使う色々な道具がありましたが、これからはタブレット端末を普通に使って学びを充実させていく使い方になっていくと思われれます。これからの時代、教科書をネットワーク上で見られるようになっていたり、教材をタブレット端末で提供して使っていくような時代がこれから来るかと思われれます。国では学力学習状況調査の実施について、今後はタブレット端末を使ってやっていこうというアナウンスがされています。今までやってきた内容はタブレット端末が一人一台になりますので、色々な場面でタブレット端末を積極的に使っていくということになろうかと思いますが、何にどう使っていくのか具体的なことについては、まさにこれから色々検討していくこととなります。

岩本教育長： 上智大学の奈須教授が「コンピュータは文房具だ。」と言われていています。子どもたちが文房具の一つとしてタブレット端末を使いこなせる。これから生きる大事な資質の一つかなと思いますので、そういったことも視野に入れながら、タブレット端末を使った授業が良い授業になるように有効に活用していくことが大事なことだと思います。

藤森委員： 長野県内でも感染者が増えてきていますが、もし、学校関係者が感染してしまい、学校名を公表したり、生徒さんも個人が特定されてしまったりという状況になった場合、誹謗中傷や風評被害の可能性も想定されますが、その場合はどんなケアを考えていますか。

事務局： 感染が学校の子どもたちやご家族に確認される以前に、発熱があったり体調を崩したり、日常の中で色々コロナウイルス感染を疑われるような事例は日々起きています。学校の方にはカウンセラーや相談ができるような専門の方を用意してありますので、それに加え養護の先生で子どもたちの心のケアというところは、いつにも増して対応していくということで確認しております。

藤森委員： 最近の学校での日常の感染予防対策については、どのようになっていますでしょうか。

事務局： 学校訪問でも観ていただいたと思いますが、机を離すとか、マスクを着ける、3蜜を避けるというところも当然ですが、心が荒まないようにというところを特に大事にしています。例えば川岸小ですが、トイレや保健室の前などに2mの距離を確保するために「思いやりの距離」と示してあり、コロナ禍であってもお互い気持ち良い生活を保てるよう各校で対応しているところです。

藤森委員： コロナ禍の中で、子どもたちが新しい生活様式の中で不自由に感じ心が荒まないように各校で丁寧な対応をお願いしたいです。

岩本教育長： 新しい学校生活様式の中では、お互いを思いやるのが非常に大きいことじゃないかなと思います。自分にできること、人にできること。そういったことを子どもながらにしっかりと自覚して、できるだけ実行することを含めて、いじめ根絶ことも会議もやっていますので、こういった機会にいじめや人権も含めながら、お互いが気持ち良く生活を送っていくためにはどうしたら良いかじっくり考える良い機会であると考えています。

岩本教育長： それぞれ良いご意見をいただきました。Withコロナということで、かなり長く続くことかなと思っています。子どもたちの健康を第一に考えながら万全を期していきたいと思っています。それでは議題1は以上とさせていただきます。

2. 令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について（教育総務課）

岩本教育長： それでは議題2に入りますが、議題2は、令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択についてです。この議題については、諏訪地区教科用図書採択研究協議会のなかで教科書採択に関わる全ての事項を、9月1日以降の公表としていますので、本日は非公開としたいと思います。

す。よろしいでしょうか。

＜委員全員から承認を得た＞

それでは、この議題につきましては非公開といたしますので、本日の議事の「その他」の後に、非公開で行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは引き続き、報告事項に入ります。事務局から説明をお願いします。

○報 告

1. ファーストチョイス（セカンド）ブック事業について（生涯学習課）

岩本教育長： 報告事項1について事務局より説明をお願いします。

＜事務局からファーストチョイス（セカンド）ブック事業について説明。＞

※図書カードに貼り付けるシールのキャラクターは小平委員がデザイン

高木委員： キャクターがとても可愛らしくて、子どもたちも親しみやすく良いですね。

太田委員： 無条件で良い事業だと思います。3歳児検診で引換券を配布ということで、ぜひ全員に周知していただけたらと思います。

小平委員： 図書館の皆さんの熱意が伝わってきて、図書館内の掲示物も工夫して作っていると思います。岡谷独自ということで、繭と蚕をイメージして、繭から着物と広がっていけば良いかなと思っています。蚕の眼の場所は本当はここじゃないのですが、本来の眼の場所を眼にするとけっこうリアルで抵抗がある人もいそうなのでここにしました。眼の場所があえて違うということも子どもたちの話題に広がっていけば良いかなと思います。

草間職務代理者： せっかくなので他の利用方法があればいいのですが。

事務局： ブランド推進室とも相談しながら、イメージとしてはピンバッジなどのグッズ作成に繋がってけば面白いかなと思います。

藤森委員： 大人でも図書カードにシールは貼ってもらえますか。

高木委員： 私、貼ってもらいました。

藤森委員： 一般利用者にも図書館利用の良いきっかけになると良いですね。

岩本教育長： せっかくなので図書館から来ていただいているので、図書館のWi-Fi環境の現状はどうなっていますでしょうか。

事務局： 図書館は昨年度、秘書広報課の計らいでWi-Fi環境していただきました。コンクリ構造ですから電波状況はちょっと厳しいですが、一つは2階の学習室、もう一つは1階のカウンターの真上に設置して、できるだけ全館に行き渡るようにしていますが、リファレンスコーナーの辺りの電波が微弱となっています。

事務局： 図書館はWi-Fi環境の整備中ですが、図書館はただ本を借りたりというだけの場所だけじゃないというのが、利用者のニーズだと思います。図書館に行くことを楽しみにしているという人もいますので、色々な方が使える環境整備が必要になるのかなと感じています。

高木委員： 図書館に行くたびに、利用者が使いやすいようにしてくれているなと感じます。装備（ブックコートフィルム）についても、障がい者施設の方と一緒にやっていくということは福祉行政と教育行政の垣根を越えた取り組みでとても良いことだと思います。

岩本教育長： ありがとうございます。それでは、報告事項2へ移ります。

2. 岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について（各課）

岩本教育長： 報告事項2について事務局より説明をお願いします。

＜事務局から岡谷市議会6月定例会一般質問要旨について説明。＞

岩本教育長： よろしいでしょうか。報告事項は以上となります。次にその他ということで、事務局からお願いします。

○その他

- ・行事等について（各課）

<各課より行事予定について説明>

- ・その他

岩本教育長： そのほか教育委員さんの方からなにかあれば、お願いいたします。

事務局： 8月29日にカノラホールでプロの演奏者の方による「はじめてのクラシックコンサート」が行われますが、前日の28日に「はじめてのクラシックアウトリーチ」ということで、昨年も行いましたが、今年は神明小学校と長地小学校が対象となっています。お時間があれば、参観してみてください。

岩本教育長： 他によろしいでしょうか。それでは、議題2に戻りたいと思います。非公開の議題となりますので傍聴人につきましては、申し訳ありませんが退席をお願いいたします。

○議 題

2. 令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について（非公開）（教育総務課）

岩本教育長： それでは議題2 令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について事務局より説明をお願いします。

<事務局から令和3年度から使用する岡谷市立中学校の教科用図書の採択について説明し、承認される。>

岩本教育長： 以上で議事を終了といたします。

事務局より次回の開催予定についてお願いします。

<次回開催日確認>

岩本教育長： それでは以上をもちまして、8月の定例教育委員会を終了とします。

午前11時00分終了

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

令和2年9月8日

教 育 長 岩本博行

署 名 委 員 草間吉幸

署 名 委 員 太田博久

調 製 職 員 城田守